



岐阜県立恵那農業高等学校の生徒が枝打ち作業を体験しました

令和元年11月13日（水）、岐阜県立恵那農業高等学校環境科学科1年生37名が、東濃森林管理署のご協力のもと、中津川市阿木地内の阿木恵那国有林で枝打ち作業を体験しました。

この活動は、森や川など岐阜県の豊かな自然環境について学ぶことを通して、将来の清流の国ぎふを担う人材を育てることを目的に「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して行っています。

はじめに、東濃森林管理署職員から、枝打ちの目的や作業の注意点について説明を受けました。その後、東濃森林管理署職員、恵那農林事務所職員の指導のもと、枝打ち作業を体験しました。

生徒たちは、慣れない急斜面での枝打ち作業を意欲的に取り組んでいました。また、自分たちの作業が適切かどうか、自ら職員に質問するなど積極的な姿がみられました。枝打ち作業によって、林内に光が差し込み、明るい森林になりました。

今回の体験を通じて、林業や森林への関心を高め、地域の若い担い手として活躍してくれることを期待しています。



東濃森林管理署職員による説明の様子



枝打ち作業の様子



枝打ち作業の様子



職員から指導を受ける様子